

こども環境管理士資格試験 参考資料・参考書籍

ここでご紹介する資料・書籍は、こども環境管理士の基礎的な知識や考え方を学ぶためのものです。本試験では、単に知識だけでなく、実践的な内容についても問われます。特に1級を受験される方は、日頃からさまざまなフィールドで実務経験を重ねることが大切です。

- 冊子『こども環境管理士資格試験 合格したい人のための学習のポイント』
(公財)日本生態系協会 (無償 / 公式サイトでダウンロード)
従来の『学習のポイント』の改訂版です。こども環境管理士資格試験の学習の要点をまとめました。過去問題とあわせてご覧ください。
- こども環境管理士資格試験 過去問題
(公財)日本生態系協会(無償 / 公式サイト『エコネット会員のページ』でダウンロード)
過去3年度分をご覧ください。解答用紙とともに、プリントアウトも可能です。なお、無償の会員制度『エコネット会員』へ登録が必要です。
- 『保育所保育指針』および『保育所保育指針解説書』(厚生労働省)
子どもと自然との触れ合いについて記されている箇所を中心にご確認ください。販売物は、学研教育出版、世界文化社、全国社会福祉協議会、チャイルド本社、ひかりのくに、フレーベル館などから刊行されています。
- 『幼稚園教育要領』および『幼稚園教育要領解説』(文部科学省)
子どもと自然との触れ合いについて明記されている箇所を中心にご確認ください。販売物は、学研教育出版、チャイルド本社、ひかりのくに、フレーベル館などから刊行されています。
- 『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』
環境省のサイトに掲載されています。近年の環境問題についてご確認ください。
- 書籍『環境を守る最新知識』[第2版]
(財)日本生態系協会 編著、信山社 刊、本体 2,100円
私たちの生活の基盤となる自然のしくみ、社会のさまざまな問題点、環境問題を解決するための考え方についてご確認ください。
- 書籍『学校・園庭ビオトープ 考え方 つくり方 使い方』
(財)日本生態系協会 編著、講談社 刊、本体 3,200円
子どもたちが日常的に自然と触れ合える場所『園庭ビオトープ』に取り組む際の基本的な考え方についてご確認ください。
- 書籍『野外における危険な生物』
(財)日本自然保護協会 編、平凡社 刊、定価 2,000円
園庭ビオトープなどの身近な自然にくらす、危険な生きものについてご確認ください。

※ これらのほか、環境に関する時事問題が出題されます。

2014年5月1日(木)更新